

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320234	X-21-B-2-320234	1	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
中国語 3b	姜 杰裕			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

2年生の前期までに学んだ中国語の基礎を生かして、会話力を高める。高度な語学運用能力を身に付けます。

各回毎の授業内容

第1回

【授】第一課 “了”の用法、連動文

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第2回

【授】第二課 進行を表す“在”、“了”の用法、未来を表す表現

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第3回

【授】第三課 “了”、“更”と“最”、“可能”の用法

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第4回

【授】第四課 “过”、“会”、“了”の用法、仮定を表す表現、分離動詞

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第5回

【授】第五課 復習

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第6回

【授】筆記試験、リスニング試験、口頭試験

【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。予習復習に4時間。

第7回

【授】資格試験対策

【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。予習復習に4時間。

第8回

【授】第六課 存現文、同一・類似を表す表現、強調を表す“是”、逆接

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第9回

【授】第七課 “着”の用法

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第10回

【授】第八課 結果補語、“再”の用法

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第11回

【授】第九課 数量補語、程度補語、前置詞からなる結果補語

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第12回

【授】第十課 復習

【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第13回

【授】まとめ

【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。予習復習に4時間。

第14回

【授】口頭試験

【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。特に例文を何度も音読しながら書いて覚える。予習復習に4時間。

第15回

【授】筆記試験、リスニング試験

【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。特に例文を何度も音読しながら書いて覚える。予習復習に4時間。

第16回

【授】レポート

【前・後】これまで習った文法や単語を用いて、冬休みの過ごし方をテーマに中国語の文章を作成する。予習復習に4時間。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							40
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							15
授業態度・授業への参加							15
成果発表(口頭・実技)							10
演習							
その他							

試験後にテストの内容について解説し、問題点を指摘する。提出したレポートは添削してから返す、質疑応答する。

教科書参考書

『理香と王麗一話す中国語2-』（董燕・遠藤光暁、朝日出版社）

受講に当たっての留意事項

中日辞典（紙媒体の辞典ないし電子辞書）を必ず持参すること。

成績は授業参加意欲、授業態度、テスト、レポート及び出席率により総合的に評価する。

学習到達目標

簡単な日常的な会話を中国語で行うことができ、簡単な作文ができるようにする。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習